



# 世田谷プラットフォーム

## 単位互換共通シラバス

大学院考古学分野

---



国士舘大学



駒澤大学



昭和女子大学

SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY

## 大学院考古学分野 目次

### 国士舘大学

ページ	科目名称	開講年度	開講期	曜日	時限	単位数	教員漢字氏名	授業形態
1	考古学演習Ⅰ	2021	通年	月	3	4	眞保 昌弘	演習
5	考古学演習Ⅱ	2021	通年	月	6	4	眞保 昌弘	演習
8	考古学特論1	2021	通年	月	4	4	眞保 昌弘	講義
11	考古学調査法特論1	2021	通年	水	1	4	眞保 昌弘	講義
14	考古学調査法特論2	2021	通年	火	6	4	眞保 昌弘	講義
17	考古学特論2	2021	通年	水	3	4	関 義則	講義
21	考古学特論4	2021	通年	水	4	4	関 義則	講義
24	考古学特論3	2021	通年	火	2	4	井上 尚明	講義

### 駒澤大学

ページ	科目名称	開講年度	開講期	曜日	時限	単位数	教員漢字氏名	授業形態
28	考古学特講Ⅰ	2021	通年	4	火	2	寺前 直人	講義
31	考古学演習Ⅰ	2021	通年	4	火	3	寺前 直人	演習
34	考古学特講Ⅲ	2021	通年	4	月	3	角道 亮介	講義
37	考古学演習Ⅲ	2021	通年	4	月	4	角道 亮介	演習
41	考古学特講Ⅳ	2021	通年	4	水	4	土生田 純之	講義
44	考古学特講Ⅴ	2021	通年	4	水	5	高久 健二	講義
47	考古学特講Ⅵ	2021	通年	4	火	5	設楽 博己	講義
51	考古学特講Ⅶ	2021	通年	4	木	2	松木 武彦	講義

### 昭和女子大学

ページ	科目名称	開講年度	開講期	曜日	時限	単位数	教員漢字氏名	授業形態
54	考古学研究ⅠD 古墳時代文化研究	2021	前期	火	4	2	小泉 玲子	講義
56	考古学研究ⅠD 古墳時代文化研究	2021	後期	火	4	2	小泉 玲子	講義
58	文化財研究(文化)ⅠE 文化財の保存修復研究	2021	前期	火	4	2	田中 眞奈子	講義
60	文化財研究(文化)ⅠE 文化財の保存修復研究	2021	後期	火	4	2	田中 眞奈子	講義

## 考古学演習 I

## 概要

対象年度	年度	2021	期	(週1回)通年	開講時限	月3
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071029700	科目ナンバー				
授業名	考古学演習 I					
英文授業名	Seminar on Archaeology I					
担当教員	眞保 昌弘					

授業形態	講義、演習、実験・実習・実技、アクティブ・ラーニング					
	e-learning利用	manaba			その他：	
担当形態	単独					
関連する授業	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目					
	後続関連授業					
教職課程科目						
テーマ・キーワード	過去人類が残した遺跡や遺物を対象にして、往時の人間社会の仕組・思想・文化を探る。					

授業の概要・ねらい	考古学史にみる学問的発達を含め考古学資料の読み解き方など基本的な考え方を学ぶことにより、歴史学を構築するための歴史資料として取り扱えることができるようにする。					
到達目標	考古学の対象である遺跡や遺物が歴史資料となるプロセスを理解してほしい。					
教科書と準備するもの	講義で取り扱う資料は、マナバに掲載するので、事前にプリント化すること。					
参考書	適宜、講義中に紹介する。					
評価の基準	「発表」「受講態度」「質問等の積極性」「定期試験」を総合的に評価する。					
具体的評価方法	「発表」「受講態度」「質問等の積極性」について講義ごとに評点化し、定期試験結果と合わせて評価。					
授業評価アンケートフィードバック・受講生ホームページ	発掘調査現地見学の機会を紹介するので、そうした場への参加を通して考古学への理解を深めて欲しい。					
単位互換						
特記	特になし。					

授業計画

第1回	内容	講義のねらい 計画の説明	第16回	内容	講義のねらい 計画の説明
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第2回	内容	考古学の定義 浜田耕作の定義	第17回	内容	資料論（1）考古資料と文献資料
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第3回	内容	考古学の発達史（1）古代以前	第18回	内容	資料論（2）形態分類
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第4回	内容	考古学の発達史（2）古代	第19回	内容	資料論（3）機能分類
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第5回	内容	考古学の発達史（3）中世	第20回	内容	型式論（1）型式学
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第6回	内容	考古学の発達史（4）近世① 水戸光圀 わが国初の発掘まで	第21回	内容	型式論（2）目的・用途・機能
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第7回	内容	考古学の発達史（5）近世② 水戸光圀 わが国初の発掘	第22回	内容	型式論（3）形式・型式・様式① 概論
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

第8回	内容	考古学の発達史（6）近世③ 蒲生君平	第23回	内容	型式論（4）形式・型式・様式② 理論
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第9回	内容	考古学の発達史（7）近世④ 藤原 貞幹	第24回	内容	型式論（5）形式・型式・様式③ 演習石器
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第10回	内容	考古学の発達史（8）近世⑤ 青柳種信	第25回	内容	型式論（6）形式・型式・様式④ 演習土器
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を 養うため、博物館資料館、発 掘現場に行き、現物にふれる 機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第11回	内容	考古学の発達史（9）近代① 時代背景	第26回	内容	型式論（7）形式・型式・様式⑤ 演習瓦
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第12回	内容	考古学の発達史（10）近代②博物 館の創設	第27回	内容	層位論（1）層位とは
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物に ふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第13回	内容	考古学の発達史（11）近代③ 文化財保護法成立まで	第28回	内容	層位論（2）層位研究の実際
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物に ふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第14回	内容	考古学の発達史（12）近代④ 文化財保護法成立以降	第29回	内容	層位論（3）層位学の研究史と今 後
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。

	内容	総括		内容	総括
第15回	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	第30回	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

## 考古学演習Ⅱ

## 概要

対象年度	年度	2021	期	(週1回)通年	開講時限	月6
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071029800	科目ナンバー				
授業名	考古学演習Ⅱ					
英文授業名	Seminar on Archaeology II					
担当教員	眞保 昌弘					

授業形態	講義、演習、実験・実習・実技、アクティブ・ラーニング					
	e-learning利用	manaba			その他：	
担当形態	単独					
関連する授業						
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目					
	後続関連授業					
教職課程科目						
テーマ・キーワード	過去人類が残した遺跡や遺物を対象にして、往時の人間社会の仕組・思想・文化を探る。					
授業の概要・ねらい	考古学の中で最も基本的な方法論である分布、年代論を理解し、考古学資料を時間的空間的に位置付けることを学び、歴史学を構築するための歴史資料として取り扱えることができるようにする。					
到達目標	考古学の対象である遺跡や遺物が歴史資料となるプロセスを理解してほしい。					
教科書と準備するもの	講義で取り扱う資料は、マナバに掲載するので、事前にプリント化すること。					
参考書	「日本考古学」1～9巻 岩波書店					
評価の基準	「発表」「受講態度」「質問等の積極性」「定期試験」を総合的に評価する。					
具体的評価方法	評価の基準にある「発表」「受講態度」「質問等の積極性」の3項目を講義ごとに評点化し、定期試験結果とあわせ評価する。					
授業評価アンケートフィードバック・受講生へメッセージ	発掘調査現地見学の機会を紹介するので、そうした場への参加を通して考古学への理解を深めて欲しい。					
単位互換						
特記	特になし。					

授業計画

	内容	講義のねらい 計画の説明		内容	講義のねらい 計画の説明
第1回	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	第16回	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第2回	内容	分布論（1）分布論とは	第17回	内容	年代論（1）概論
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第3回	内容	分布論（2）文化圏	第18回	内容	年代論（2）時代
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第4回	内容	分布論（3）分布圏	第19回	内容	年代論（3）年代
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第5回	内容	分布論（4）中心と周辺	第20回	内容	年代論（4）年代確定論①遺跡
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第6回	内容	分布論（5）生活圏、分布と自然環境	第21回	内容	年代論（5）年代確定論②遺物
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第7回	内容	分布論（6）分布の実際的演習	第22回	内容	年代論（6）絶対年代①文字資料
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第8回	内容	分布論（7）資源と生産地	第23回	内容	年代論（7）絶対年代②暦
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。

	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第9回	内容	分布論（8）通婚圏と情報圏	第24回	内容	年代論（8）絶対年代③年輪年代
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第10回	内容	分布論（9）民俗と種族	第25回	内容	年代論（9）絶対年代④化学分析
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第11回	内容	分布論（10）支配領域と統 治	第26回	内容	年代論（10）相対 年代①層位
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第12回	内容	分布論（11）道と交易	第27回	内容	年代論（11）相対年代②土器型 式
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第13回	内容	分布論（12）意味のある分布、 意味のない分布	第28回	内容	年代論（12）相対年代③瓦
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第14回	内容	分布論（13）確かな分布、 不確かな分布	第29回	内容	年代論（13）相対年代④実際の 演習
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第15回	内容	総括	第30回	内容	総括
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。

## 考古学特論 1

## 概要

対象年度	年度	2021	期	(週1回)通年	開講時限	月4
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071003600	科目ナンバー				
授業名	考古学特論 1					
英文授業名	Special Studies in Archaeology 1					
担当教員	眞保 昌弘					

授業形態	講義、演習、実験・実習・実技、アクティブ・ラーニング					
	e-learning利用	manaba			その他：	
担当形態	単独					
関連する授業						
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目					
	後続関連授業					
教職課程科目						
テーマ・キーワード	古代国家形成期の東国					
授業の概要・ねらい	古代東国を対象とした考古学的資料を研究することによって中央集権的国家形成期にみる地方支配の成立過程を在地社会の動向から読み取ることができるようにする。					
到達目標	「考古学とは何か」。広大な歴史の解明には、考古学的手法なしでは、成し得ないことについて基礎的理解を深める。					
教科書と準備するもの	眞保昌弘『古代国家形成期の東国』同成社 9720円 このほか、講義で取り扱う資料は、マナバに掲載するので、事前にプリント化すること。					
参考書	必要に応じて授業中に指示、配布する。					
評価の基準	「受講態度」「質問等の積極性」「レポート、口頭発表」などを評価する。					
具体的評価方法	毎回の講義ごとに、「評価の基準」3項目を評点化する。					
授業評価アンケートフィードバック・受講生へメッセージ	各種講演会、研究会への参加機会を紹介するので、そうした場への参加を通して講義内容の理解を深めて欲しい。					
単位互換						
特記	特になし。					

授業計画

第1回	内容	講義のねらい、計画の説明	第16回	内容	東国における渡来人配置（1）対外関係
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第2回	内容	対外関係と中央集権的国家形成期の日本	第17回	内容	東国における渡来人配置（2）考古学的資料
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第3回	内容	中央集権的国家の展開（1）制度	第18回	内容	中央集権的国家の展開（1）陸奥国
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第4回	内容	中央集権的国家の展開（2）宮都	第19回	内容	中央集権的国家の展開（2）肥後国
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第5回	内容	中央集権的国家の展開（3）五畿七道	第20回	内容	坂東出現と陸奥国接圏地域
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第6回	内容	中央集権的国家形成期の東国	第21回	内容	接圏地域の様相（東山道）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第7回	内容	寺院官衙の成立と前代からの在地社会（1）上野国	第22回	内容	接圏地域の様相（東海道）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第8回	内容	寺院官衙の成立と前代からの在地社会（2）下野国	第23回	内容	接圏地域の様相（北陸道）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	寺院官衙の成立と前代からの在地社会（3）陸奥国		内容	寺院官衙と瓦からみた畿内と坂東

第9回	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修	第24回	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第10回	内容	寺院官衙の成立と前代からの在地社会（4）相模、武蔵国	第25回	内容	寺院官衙と瓦からみた坂東と陸奥（1）上野国
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第11回	内容	寺院官衙の成立と前代からの在地社会（5）上総、下総、常陸国	第26回	内容	寺院官衙と瓦からみた坂東と陸奥（2）下野国
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第12回	内容	東国における寺院官衙の成立と前代からの在地社会の動向を総括	第27回	内容	寺院官衙と瓦からみた坂東と陸奥（3）常陸国
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第13回	内容	古代石碑からみる中央集権的国家形成期の在地社会（1）上野国	第28回	内容	寺院官衙と瓦からみた西海道
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第14回	内容	古代石碑からみる中央集権的国家形成期の在地社会（2）下野国	第29回	内容	東国と畿内
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第15回	内容	古代石碑からみる東国における中央集権的国家形成期の在地社会を総括	第30回	内容	古代国家形成期の東国総括
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

## 考古学調査法特論 1

## 概要

対象年度	年度	2021	期	(週1回)通年	開講時限	水1
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071028500	科目ナンバー				
授業名	考古学調査法特論 1					
英文授業名	Special Studies on Archaeological Survey and Analysis 1					
担当教員	眞保 昌弘					

授業形態	講義、演習、実験・実習・実技、アクティブ・ラーニング					
	e-learning利用	manaba			その他：	
担当形態	単独					
関連する授業	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目					
	後続関連授業					
教職課程科目						
テーマ・キーワード	考古学の実践的経験を積むための講義を行う。					

授業の概要・ねらい	現地における発掘調査と出土遺物の取り扱いなど、実践的研究を進めることによって、歴史を考察するための基礎的技術を身につけることができるようにする。
到達目標	発掘調査の準備、実施、遺物の処理について理解する。
教科書と準備するもの	講義で取り扱う資料は、マナバに掲載するので、事前にプリント化すること。
参考書	文化庁文化財部記念物課2010「発掘調査のてびき-集落遺跡発掘編-」、同2013「発掘調査のてびき-各種遺跡調査編-」
評価の基準	レポート、発表、受講態度など熟意を重視する。
具体的評価方法	評価基準の3項目を講義ごとに評点化する。
授業評価アンケートフィードバック・受講生へメッセージ	各種講演会、研究会への参加機会を紹介するので、そうした場への参加を通して講義内容の理解を深めて欲しい。
単位互換	
特記	特になし。

授業計画

第1回	内容	埋蔵文化財の保護と発掘調査 (1) 文化財の保護。	第16回	内容	発掘調査の実施(8) 遺物の取り 上げ方法と写真撮影
	授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。		授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第2回	内容	埋蔵文化財の保護と発掘調査 (2) 文化財保護法の解説。	第17回	内容	発掘調査の実施(9) 地形測量で の測量器具の使い方
	授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。		授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第3回	内容	発掘調査の準備(1) 調査計画	第18回	内容	発掘調査の実施(10) 墳丘測量で の測量器具の使い方
	授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事をスク ラップする。		授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事をスク ラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第4回	内容	発掘調査の準備(2) 調査の目的	第19回	内容	発掘調査の実施(11) 窯跡調査で の測量器具の使い方
	授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事をスク ラップする。		授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事をスク ラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第5回	内容	発掘調査の準備(3) 調査器具と 機材の準備	第20回	内容	発掘調査の実施(12)集落跡調査 での測量器具の使い方
	授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事をスク ラップする。		授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事をスク ラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第6回	内容	発掘調査の準備(4) 記録類の準備	第21回	内容	発掘調査の整理(1) 遺物台帳の 作成
	授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事をスク ラップする。		授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事をスク ラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第7回	内容	発掘調査の方法(1) 部分発掘と 全面調査の方法	第22回	内容	発掘調査の整理(2) 図面台帳の 作成
	授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事をスク ラップする。		授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事をスク ラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第8回	内容	発掘調査の方法(2) 遺跡の地区 決定の方法	第23回	内容	発掘調査の整理(3) 写真台帳の 作成

	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第9回	内容	発掘調査の実施（1）縄文遺跡での層位の見分け方	第24回	内容	発掘調査による遺物の処理（1）出土遺物の洗浄方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第10回	内容	発掘調査の実施（2）貝塚での層位の見分け方	第25回	内容	発掘調査による遺物の処理（2）出土遺物の注記の方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第11回	内容	発掘調査の実施（3）古墳調査での層位の見分け方	第26回	内容	発掘調査による遺物の処理（3）遺物の接合方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第12回	内容	発掘調査の実施（4）窯跡調査での層位の見分け方	第27回	内容	発掘調査による遺物の処理（4）遺物の補修
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第13回	内容	発掘調査の実施（5）土器の取り上げ方法と写真撮影	第28回	内容	発掘調査による遺物の処理（5）重要遺物の取扱い方
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第14回	内容	発掘調査の実施（6）鉄器の取り上げ方法と写真撮影	第29回	内容	発掘調査による遺物の処理（6）実測用具の準備
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第15回	内容	発掘調査の実施（7）青銅器の取り上げ方法と写真撮影	第30回	内容	発掘調査による遺物の処理（7）遺物実測の方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

## 考古学調査法特論2

## 概要

対象年度	年度	2021	期	(週1回)通年	開講時限	火6
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071028600	科目ナンバー				
授業名	考古学調査法特論2					
英文授業名	Special Studies on Archaeological Survey and Analysis 2					
担当教員	眞保 昌弘					

授業形態	講義、演習、実験・実習・実技、アクティブ・ラーニング		
	e-learning利用	manaba	その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	考古学の実践的経験を積むための講義を行う。		

授業の概要・ねらい	現地における発掘調査によって出土する遺物の処理や調査結果の整理、報告書の作成まで具体的な事例をもとに一貫した実践的研究を進めることによって、歴史を考察するための基礎的技術を身に付けることができるようにする。
到達目標	発掘調査成果のまとめ方について理解する。
教科書と準備するもの	講義で取り扱う資料は、マナバに掲載するので、事前にプリント化すること。
参考書	文化庁文化財部記念物課2010「発掘調査のてびき-整理・報告書編-」
評価の基準	レポート、発表、受講態度など熱意を重視する。
具体的評価方法	評価の基準3項目を講義ごとに評点化する。
授業評価アンケートフィードバック・受講生へメッセージ	各種講演会、研究会への参加機会を紹介するので、そうした場への参加を通して講義内容の理解を深めて欲しい。
単位互換	
特記	特になし。

## 授業計画

第1回	内容	出土遺物の処理（1）拓本の方法	第16回	内容	出土遺物の保管（4）壊れやすいものの保管方法 小型品
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第2回	内容	出土遺物の処理（2）拓本の処理	第17回	内容	出土遺物の保管（5）腐食しにくいものの保管方法 大型品
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第3回	内容	出土遺物の処理（3）記録類の整理保管・図面	第18回	内容	出土遺物の保管（6）腐食しにくいものの保管方法 小型品
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第4回	内容	出土遺物の処理（4）記録類の整理保管・写真	第19回	内容	出土遺物の保管（7）腐食しやすいものの保管方法 大型品
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第5回	内容	記録類の処理（1）日誌の整理	第20回	内容	出土遺物の保管（8）腐食しやすいものの保管方法 小型品
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第6回	内容	記録類の処理（2）実測図の基本	第21回	内容	報告書の作成（1）報告書のいろいろ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第7回	内容	記録類の処理（3）実測図の作成・石器	第22回	内容	報告書の作成（2）サイズと版面
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第8回	内容	記録類の処理（4）実測図の作成・縄文土器	第23回	内容	報告書の作成（3）縮尺と縮図
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

第9回	内容	記録類の処理（5）実測図の作成・土師器	第24回	内容	報告書の作成（4）遺跡のトレース
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第10回	内容	記録類の処理（6）実測図の作成・須恵器	第25回	内容	報告書の作成（5）遺物のトレース
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第11回	内容	記録類の処理（7）実測図の作成・木器	第26回	内容	報告書の作成（6）本文印刷
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第12回	内容	記録類の処理（8）実測図の作成・鉄器	第27回	内容	報告書の作成（7）本文レイアウト
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第13回	内容	出土遺物の保管（1）壊れにくいものの保管方法 大型品	第28回	内容	報告書の作成（8）図版レイアウト
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第14回	内容	出土遺物の保管（2）壊れにくいものの保管方法 小型品	第29回	内容	報告書の作成（9）目次の作成
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第15回	内容	出土遺物の保管（3）壊れやすいものの保管方法 大型品	第30回	内容	報告書の作成（10）装丁
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

## 概要

対象年度	年度	2021	期	(週1回)通年	開講時限	水3
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071003700	科目ナンバー				
授業名	考古学特論2					
英文授業名	Special Studies in Archaeology 2					
担当教員	関 義則					

授業形態	講義					
	e-learning利用		その他：			
担当形態	単独					
関連する授業						
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目					
	後続関連授業					
教職課程科目						
テーマ・キーワード	古墳・古墳時代・古墳の構造・古墳祭祀・副葬品・刀剣・馬具					

授業の概要・ねらい	古墳時代を象徴する古墳そのものの分析をとおして、古墳時代の社会にアプローチする。導入で古墳に対する基礎的な知識を整理する。次に被葬者や設計・祭祀あるいは年代など古墳や古墳群研究にかかる諸問題に触れる。後段では、副葬品とりわけ武器・武具・馬具に焦点を当て、分析の手順や手法に留意しながら、分析結果がどのような歴史解釈に結び付けられているのかを整理しつつ、今日の到達点と課題を解説する。
到達目標	古墳及び古墳出土の副葬品の研究成果を踏まえつつ今日の到達点と課題を理解する。
教科書と準備するもの	テーマごとにレジюме・資料を配布する。
参考書	レジюмеに記載。
評価の基準	古墳の概要及び副葬品（武器・武具・馬具）について基本的な知識を獲得している。
具体的評価方法	春季・秋季2回のレポートで評価する。
実務経験教員による授業科目	【実務経験】考古学を専門とする博物館学芸員の実務経験のある教員が考古学の講義を行う。
授業評価アンケートフィードバック・受講生へメッセージ	本講では古墳及び古墳副葬品の研究、とりわけ型式学的な研究法に焦点をあて、分析手法の原理・原則を中心に解説する予定で、他の時代・遺物にも十分に活用可能なはずである。質問は随時受け付けるので、疑問点は残さず学修してほしい。
単位互換	
特記	特になし。

授業計画

第1回	内容	ガイダンス 年間の事業計画を説明する。	第16回	内容	古墳設計の諸問題2 古墳設計と 基準尺の検討について講義す る。
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）シラバスに目をとおし ておく。 （復習）特になし。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）古代の尺にはどのよう なものがあったのかを確認して おく。 （復習）配布資料の内容を整理 しておく。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第2回	内容	古墳の基礎知識 1 古墳時代の研究の流れを回顧す る。	第17回	内容	古墳副葬品の諸問題 1 型式学的研究法について講義す る。
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）いくつかの概説書に 目をとおしておく。 （復習）配布資料の内容を整理 しておく。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）型式学とは何かを調べ ておく。 （復習）配布資料の内容を整理 しておく。
	授業実 施特記	特になし。		授業実 施特記	特になし。
第3回	内容	古墳の基礎知識 2 古墳の構造・外表施設、副葬品に ついて講義する。	第18回	内容	古墳副葬品の諸問題 2 副葬品による年代決定論につい て講義する。
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）いくつかの概説書に 目をとおしておく。 （復習）配布資料の内容を整理 しておく。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）古墳の副葬品にはどの ような品目があるのか確認して おく。 （復習）配布資料の内容を整理 しておく。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第4回	内容	古墳の基礎知識 3 古墳の実年代論について講義す る。	第19回	内容	古墳副葬品の諸問題 3 刀剣と佩用方法の変遷について 講義する。
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）いくつかの概説書に 目をとおしておく。 （復習）配布資料の内容を整理 しておく。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）刀剣の佩用方法にはど のようなものがあるか確認して おく。 （復習）配布資料の内容を整理 しておく。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第5回	内容	古墳の基礎知識 4 古墳の被葬者論について講義す る。	第20回	内容	古墳副葬品の諸問題 4 刀剣の分類と編年について講義 する。
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）いくつかの概説書に目と おしておく。 （復習）配布資料の内容を整理 しておく。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）刀剣にはどのような種 類があるのかを確認しておく。 （復習）配布資料の内容を整理 しておく。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第6回	内容	古墳・古墳群の諸問題 1 前方後円墳の成立と前期古墳論 について講義する。	第21回	内容	古墳副葬品の諸問題 5 装飾付大刀の解釈論について講 義する。
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）前方後円墳とは何か及び 前期古墳の特徴を調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理し ておく。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）装飾付大刀の種類につ いて整理しておく。 （復習）配布資料の内容を整理 しておく。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第7回	内容	古墳・古墳群の諸問題 2 前方後円墳の展開と中期古墳論 について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題 6 刀剣と象嵌銘文について講義す る。

	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）中期古墳の特徴を調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。	第22回	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）我が国の古墳時代に有銘刀剣がどれくらい確認されているかを調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第8回	内容	古墳・古墳群の諸問題 3 前方後円墳の配置論について講義する。	第23回	内容	古墳副葬品の諸問題 7 馬具の起源と展開について講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）前方後円墳の配置に規則性の有無を調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）馬具のパーツにはどのような種類があるのかを確認しておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第9回	内容	古墳・古墳群の諸問題 4 東国の後期前方後円墳論について講義する。	第24回	内容	古墳副葬品の諸問題 8 倭国における馬具の出現とその源流について講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）後期古墳の特徴を調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）古墳時代の馬具にはどのような種類があるのかを確認しておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第10回	内容	古墳・古墳群の諸問題 5 前方後円墳の終末年代論について講義する。	第25回	内容	古墳副葬品の諸問題 9 馬具の種類と変遷について講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）前方後円墳の終末年代にどのような議論があるのかを確認しておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）特になし。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第11回	内容	古墳・古墳群の諸問題 6 終末期古墳の諸問題について講義する。	第26回	内容	古墳副葬品の諸問題 10 鋳造馬具・鈴付馬具の諸問題について講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）代表的な終末期古墳を調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）鋳造製品の特性について調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第12回	内容	古墳祭祀の諸問題 1 造り出しと古墳祭祀について講義する。	第27回	内容	古墳副葬品の諸問題 11 馬具の組成と階層性について講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）造り出しとは何かを確認しておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）特になし。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

第13回	内容	古墳祭祀の諸問題2 形象埴輪の意義について講義する。	第28回	内容	古墳副葬品の諸問題1 2 馬具と戦術について講義する。
	授業時間外における学修(予習・復習等)	(予習) 形象埴輪にはどのような種類があるのかを確認しておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。		授業時間外における学修(予習・復習等)	(予習) 特になし。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第14回	内容	古墳祭祀の諸問題3 形象埴輪の配列について講義する。	第29回	内容	古墳副葬品の諸問題1 3 副葬品としての火打金について講義する。
	授業時間外における学修(予習・復習等)	(予習) 良好な形象埴輪群の配列が確認された古墳を調べておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておくとともに、これまでの講義を振り返り、レポートの課題に向けて自ら学修する。		授業時間外における学修(予習・復習等)	(予習) 火打金とはどのような製品を調べておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第15回	内容	古墳設計の諸問題1 古墳の設計原理研究の流れについて講義する。	第30回	内容	まとめ これまでの古墳研究にかかる講義内容を総括するとともに、古墳研究の展望を示す。
	授業時間外における学修(予習・復習等)	(予習) 古墳の設計にかかる論考をいくつか読んでおく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。		授業時間外における学修(予習・復習等)	(予習) これまで配布したプリントとそれを自分なりに整理したメモに目をとおしておく。 (復習) これまでの講義を振り返り、レポートの課題に向けて自ら学修する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

## 考古学特論 4

## 概要

対象年度	年度	2021	期	(週1コマ)通年	開講時限	水4
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071028300	科目ナンバー				
授業名	考古学特論 4					
英文授業名	Special Studies in Archaeology 4					
担当教員	関 義則					

授業形態	講義		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	文化財・文化財保護・文化財活用・埋蔵文化財		

授業の概要・ねらい	本科目では、文化財保護制度の概要とその実際的な運用について、文化財保護法及び関連法令そして法令を運用するための各種通達を、現場における運用実態や判例や行政実例をもとに解説し、当該制度に関する基礎知識を習得させるとともに、今日的諸問題について理解を深める。
到達目標	文化財保護行政の制度と運用について正しく理解する。
教科書と準備するもの	教科書はなし。授業の進行にあわせて適宜プリントを配布する。
参考書	和田勝彦「遺跡保護の制度と行政」同成社 根木昭・和田勝彦編「文化財政策概論」東海大学出版会
評価の基準	文化財保護行政の制度について基礎的な事項を理解できている。
具体的評価方法	授業での発言・発表（50%）及びレポート（50%）で評価する。
実務経験教員による授業科目	【実務経験】自治体で文化財保護行政に携わった経験を有する教員が、文化財保護行政制度と実際の運用について解説する。
授業評価アンケートフィードバック・受講生へメッセージ	保護法及び関連法令の範囲は広く多岐に渡りますが、単なる法令解釈にとどまらず、運用や実務の視点から分かりやすく解説するように努めます。また、質問は随時受け付けますので、疑問点があれば、その場で質問してください。
単位互換	
特記	特になし。

授業計画

第1回	内容	ガイダンス 文化財の定義と保護の目的	第16回	内容	文化財保護の諸制度（４） 行財政制度
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）シラバスに目をとし ておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係個所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第2回	内容	文化財保護の沿革（１） 文化財保護法制定以前の法制度	第17回	内容	文化財保護の施策（１） 活用に関する諸制度
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係個所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係個所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第3回	内容	文化財保護の沿革（２）文化財保 護法の制定	第18回	内容	文化財保護の施策（２） 修理・復原・整備
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係個所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係個所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第4回	内容	文化財保護制度の沿革（３） 文化財保護制度の充実と発展	第19回	内容	文化財保護の施策（３） 世界遺産
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の関 係個所を通読しておき、疑問点が あればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の関 係個所を通読しておき、疑問点が あればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第5回	内容	文化財保護法詳解（１）法の趣旨 と枠組み	第20回	内容	文化財保護の施（４） 日本遺産
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の関 係個所を通読しておき、疑問点が あればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係個所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第6回	内容	文化財保護法詳解（２） 文化財保護の仕組み	第21回	内容	埋蔵文化財行政の仕組み（１） 把握・周知・調整
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の関 係個所を通読しておき、疑問点が あればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の関 係個所を通読しておき、疑問点が あればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第7回	内容	文化財保護法詳解（３）有形文化 財	第22回	内容	埋蔵文化財行政の仕組（２） 調査
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係個所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係個所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第8回	内容	文化財保護法詳解（４）建造物	第23回	内容	埋蔵文化財行政の仕組（３） 出土品の取り扱い
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の関 係個所を通読しておき、疑問点が あればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係個所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。

	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第9回	内容	文化財保護法詳解（５） 記念物	第24回	内容	埋蔵文化財行政の諸問（１） 発掘調査費用の負担問題
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第10回	内容	文化財保護法詳解（６） 民俗文化財・有形文化財	第25回	内容	埋蔵文化財行政の諸問（２）発 掘担当者の資格問題
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文 献の関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモし ておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第11回	内容	文化財保護法詳解（７） 文化的景観	第26回	内容	埋蔵文化財行政の諸問（３） 取り扱い基準と民間調査機関
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文 献の関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモし ておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第12回	内容	文化財保護法詳解（８）埋 蔵文化財	第27回	内容	埋蔵文化財行政の諸問（４） 調査時の事件・事故と安全対策
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）土木工事における各種 法令や基準を整理しておくこ と。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第13回	内容	文化財保護の諸制度（１） 現状変更許可制度	第28回	内容	埋蔵文化財保護行政の課題
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）２１回～２７回の講義 内容を整理しておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第14回	内容	文化財保護の諸制度（２） 登録文化財制度	第29回	内容	埋蔵文化財保護行政の展望
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）２１回～２７回の講義 内容を整理しておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第15回	内容	文化財保護の諸制度（３） 関連諸法令	第30回	内容	文化財保護行政制度のまとめ
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）これまでの講義内容を 整理しておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。

## 考古学特論 3

## 概要

対象年度	年度	2021	期	(週1回)通年	開講時限	火2
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071028200	科目ナンバー				
授業名	考古学特論 3					
英文授業名	Special Studies in Archaeology 3					
担当教員	井上 尚明					

授業形態	講義		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	飛鳥の遺跡群	中央官衙と地方官衙	古代景観

授業の概要・ねらい	律令国家の形成過程とその変遷を、遺跡の動態や遺構・遺物から紹介し、最新の調査・研究成果を取り入れながら講義する。また、遺跡や遺物に残る痕跡や文献資料から、古代の環境変化と災害を解説し、考古学から環境史や災害史を考える能力を養う。
到達目標	古代遺跡の構造や出土遺物から、遺跡の性格や時期的な特徴を理解し、律令国家の形成過程を考古学的に説明することができる。環境や災害という視点から古代社会の変化を理解している。
教科書と準備するもの	テーマに沿った資料を適宜配布する。
参考書	須田勉他『日本古代考古学論集』、江口桂他『古代官衙』、井上尚明他編『飛鳥時代の東国』、その他必要に応じて紹介する。
評価の基準	以下の2点を基準として評価する。①古代遺跡の特徴と性格を遺構・遺物から説明できる。②考古学からみた環境や災害について理解している。
具体的評価方法	授業内での発表やレポートなどで評価する。
授業評価アンケートフィードバック受講生へメッセージ	最新の調査・展示の情報を提供するので、積極的に遺跡や博物館見学をしてほしい。質問は随時受け付けるので、疑問点は残さず学修してほしい。
単位互換	
特記	大学所蔵の考古資料を活用して、実践的な授業をする。

## 授業計画

第1回	内容	ガイダンス 授業の進め方と研究史を説明する。	第16回	内容	国府の成立 国府の成立について、東国を中心に解説する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：シラバスを読んでおくこと。 復習：研究史の重要性を理解すること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：武蔵国府の立地について調べておく。 復習：国府立地の属性と地域性を理解する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第2回	内容	古代の考古学について 授業で扱う時代と地域の範囲を説明する。	第17回	内容	評家の設置 1 評と評家の設置について、律令国家の形成期としての視点から解説する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：参考書で古代考古学について調べておく。 復習：研究史の重要性を確認しておく。配布資料を再読する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：評制について予習しておくこと。復習：評制期の歴史的意義について確認する。配布資料を再読する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第3回	内容	古代遺跡の種類と構造 古代遺跡の種類と構造などについて解説する。	第18回	内容	評家の設置 2 評家の設置によって地域社会がどのように変化し、景観がどう変遷するかを講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：参考書などで古代遺跡の種類について調べておく。 復習：古代の範囲を確認しておく。配布資料を再読する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：評家遺跡の調査例を確認すること。 復習：武蔵国の評家について理解する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第4回	内容	古墳時代から律令時代へ 1 前方後円墳の終焉と埴輪の消滅について、時代背景から説明をする。	第19回	内容	評家の設置 3 評家遺跡の構造と変遷について解説する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：古墳の墳形について調べておく。 復習：前方後円墳の分布を確認しておく。配布資料を再読する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：評家の年代観について予習しておくこと。 復習：評家の出現と郡家への移行について理解しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	大学所蔵資料で年代観の確認を行う。
第5回	内容	古墳時代から律令時代へ 2 終末期古墳の分布と出土遺物について解説する。	第20回	内容	国郡制と郡家 大宝令による郡の設置と評家との関係について講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：終末期古墳とは何かを調べておく。 復習：終末期古墳の墳形の種類について理解する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：大宝令について予習しておくこと。 復習：評家と郡家の比較をすること。配布資料を再読する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第6回	内容	古墳時代から律令時代へ 3 終末期古墳と古代寺院の関係について解説する。	第21回	内容	郡家の構造 1 郡家の機能について、出土遺物や東国の郡家を例に考える。

	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：東国の出現期古代寺院について確認しておく。 復習：終末期古墳の特徴を理解する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：「地方官衙の種類」講義で、郡家の役割を確認しておく。 復習：国府との違いを確認すること。配布資料を再読する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第7回	内容	飛鳥の遺跡群 1 飛鳥寺の建立と飛鳥諸宮について解説する。	第22回	内容	郡家の構造 2 正倉・政庁などの郡家諸施設について解説する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：飛鳥の立地について調べておく。 復習：飛鳥時代の時代背景を確認する。配布資料を再読する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：評家の構造について確認しておく。 復習：評家との構造上の違いを再確認する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第8回	内容	飛鳥の遺跡群 2 飛鳥編年と暦年代の比定について、畿内と東国を比較検討する。	第23回	内容	古代交通 1 官道の整備とその構造について解説し、古代景観にどのような影響を及ぼしたか講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：飛鳥編年について、藤原報告Ⅱと平城報告Ⅶを確認しておく。復習：編年に使用された主な遺跡を理解する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：古代道路の調査例を調べておく。復習：「地方官衙の種類」講義を確認し、配布資料を再読する。
	授業実施特記	大学所蔵資料を使った授業とする。		授業実施特記	特になし。
第9回	内容	飛鳥の遺跡群 3 改新の詔について考古学的な視点から解説する。	第24回	内容	古代交通 2 駅家の整備とその構造について解説する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：大化改新について調べておく。 復習：天下立評などの詔について確認しておく。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：古代道路の構造を確認しておく。復習：郡家と駅家の構造上の差を理解する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第10回	内容	飛鳥の遺跡群 4 飛鳥池遺跡の重要性について解説する。	第25回	内容	古代交通 3 水上交通関連遺跡を紹介し、その構造について解説する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：飛鳥池遺跡の位置や立地条件について調べておく。 復習：富本銭の重要性を確認しておく。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：「津」地名などについて調べておく。 復習：陸上交通との関連を理解する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第11回	内容	飛鳥の遺跡群 5 水落遺跡の構造を紹介し、時を支配する意味について理解する。	第26回	内容	居宅遺跡と出土遺物律令時代の居宅を紹介し、地方官衙との比較から地域社会を考える。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：漏刻台について、その概要を調べておく。 復習：官僚制と水落遺跡の関係を確認しておく。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：古墳時代の居館について調べておく。 復習：配布資料を再読する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

第12回	内容	飛鳥宮から藤原京へ 飛鳥を離れ、藤原京を建設した理由について解説する。	第27回	内容	庄家遺跡と出土遺物初期庄園と呼ばれる、8世紀代の庄家の構造と出土遺物について講義する。
	授業時間外における学修(予習・復習等)	予習：藤原京の立地を調べておく。 復習：藤原京の特徴を確認しておく。配布資料を再読する。		授業時間外における学修(予習・復習等)	予習：中世荘園について調べておく。復習：庄家の構造と中世荘園を比較する。配布資料を再読する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第13回	内容	平城遷都 平城京への遷都と藤原京の関係を解説する。	第28回	内容	自然科学と歴史考古学 花粉分析や火山灰分析などの科学分析から、古代の景観と環境を考える。
	授業時間外における学修(予習・復習等)	予習：藤原京と平城京の位置関係を調べておく。 復習：平城京の立地について確認しておく。配布資料を再読する。		授業時間外における学修(予習・復習等)	予習：科学分析の種類を予習しておく。復習：配布資料を再読する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	資料サンプル・標本などを使用した授業とする。
第14回	内容	中央官衙の構造 藤原宮と平城宮の京内での位置関係とその違いについて解説する。	第29回	内容	歴史災害と考古学 古代の災害記録や地震・津波痕跡などから、古代社会と災害の関わりを考える。
	授業時間外における学修(予習・復習等)	予習：平城宮の平面図を調べておく。 復習：『周礼』に基づく藤原宮と平城宮の違いを確認すること。		授業時間外における学修(予習・復習等)	予習：六国史などの災害記録を確認しておく。 復習：東日本大震災などの現代の災害と歴史災害を比較する。配布資料を再読する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第15回	内容	地方官衙の種類 地方官衙の成立と地方行政組織の変遷について概説し、古代景観の成立を説明する。	第30回	内容	まとめ-古代景観を考える- これまでの授業で得られた知識と新知見から、古代社会の景観を考えてみる。
	授業時間外における学修(予習・復習等)	予習：地方官衙とは何か調べておく。 復習：中央官衙との比較をすること。配布資料を再読する。		授業時間外における学修(予習・復習等)	予習：これまでの資料を確認しておく。復習：特定の遺跡の景観を想定してみる。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

履修コード/科目名称	824601 / 考古学特講 I 【講義】		
開講年度・期	2021年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	寺前 直人 (テラマエ ナオト)		
副担当教員氏名(カナ)			

授業概要	縄文時代から弥生時代における儀礼の継続と変質			
到達目標(ねらい)	農耕開始期(弥生時代)において、伝統的儀礼がどのような過程で、消滅し、継続していくかを実証的に論じる。対象とする考古資料は、土偶をはじめとする土製品、石棒をはじめとする石製品である。			
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	授業の概要説明	
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献の熟読	60分
	第 2 回	授業の計画・内容	縄文時代儀礼の研究史 1	
		準備学習 (予習・復習等)	配付資料の熟読	60分
	第 3 回	授業の計画・内容	縄文時代儀礼の研究史 2	
		準備学習 (予習・復習等)	紹介参考文献の熟読と要約	80分
	第 4 回	授業の計画・内容	縄文時代儀礼の研究史 3	
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料の熟読	60分
	第 5 回	授業の計画・内容	石棒類の分類 1	
		準備学習 (予習・復習等)	配布実測図ならびに写真をふまえた型式学的理解の深化	60分
	第 6 回	授業の計画・内容	石棒類の分類 2	
		準備学習 (予習・復習等)	配布実測図ならびに写真をふまえた型式学的理解の深化	60分
	第 7 回	授業の計画・内容	石棒類の変遷	
準備学習 (予習・復習等)		配布実測図ならびに写真をふまえた型式学的理解の深化	60分	
第 8 回	授業の計画・内容	石棒類の地域差		
	準備学習 (予習・復習等)	配布実測図ならびに写真をふまえた型式学的理解	60分	
第 9 回	授業の計画・内容	土偶の分類		
	準備学習 (予習・復習等)	土偶に関する基礎的文献の熟読	60分	
第 10 回	授業の計画・内容	土偶の変遷		
	準備学習 (予習・復習等)	土偶に関する基礎的文献の熟読	60分	
第 11 回	授業の計画・内容	土偶の地域差 1		
	準備学習 (予習・復習等)	配布実測図ならびに写真をふまえた型式学的理解	60分	
第 12 回	授業の計画・内容	土偶の地域差 2		
	準備学習 (予習・復習等)	土偶に関する基礎的文献の熟読	60分	
第 13 回	授業の計画・内容	西日本の土偶 1		

	準備学習 (予習・復習等)	近畿地方における土偶関連論文の熟読	60分
第 14 回	授業の計画・内容	西日本の土偶 2	
	準備学習 (予習・復習等)	配布実測図ならびに写真をふまえた型式学的理解	60分
第 15 回	授業の計画・内容	縄文時代の東西日本列島	
	準備学習 (予習・復習等)	縄文時代の地域差に関する関連論文の熟読	120分
第 16 回	授業の計画・内容	弥生時代の儀礼研究史 1	
	準備学習 (予習・復習等)	関連論文の熟読	60分
第 17 回	授業の計画・内容	弥生時代の儀礼研究史 2	
	準備学習 (予習・復習等)	関連論文の熟読	60分
第 18 回	授業の計画・内容	弥生時代の石棒 1	
	準備学習 (予習・復習等)	弥生時代概論の熟読	60分
第 19 回	授業の計画・内容	弥生時代の石棒 2	
	準備学習 (予習・復習等)	弥生時代概論の熟読	60分
第 20 回	授業の計画・内容	弥生時代の石棒 3	
	準備学習 (予習・復習等)	弥生時代農耕論関連論文の熟読	80分
第 21 回	授業の計画・内容	弥生時代開始期の土偶 1	
	準備学習 (予習・復習等)	配布実測図ならびに写真をふまえた型式学的理解	60分
第 22 回	授業の計画・内容	弥生時代開始期の土偶 2	
	準備学習 (予習・復習等)	配布実測図ならびに写真をふまえた型式学的理解	60分
第 23 回	授業の計画・内容	土偶と分銅形土製品 1	
	準備学習 (予習・復習等)	配布実測図ならびに写真をふまえた型式学的理解	60分
第 24 回	授業の計画・内容	土偶と分銅形土製品 2	
	準備学習 (予習・復習等)	配布実測図ならびに写真をふまえた型式学的理解	60分
第 25 回	授業の計画・内容	伝統儀礼と青銅器	
	準備学習 (予習・復習等)	弥生時代青銅器に関する概論の熟読	60分
第 26 回	授業の計画・内容	銅鐸の系譜 1	
	準備学習 (予習・復習等)	銅鐸に関する基礎的文献の熟読	60分
第 27 回	授業の計画・内容	銅鐸の系譜 2	
	準備学習 (予習・復習等)	配布実測図ならびに写真をふまえた型式学的理解	60分
第 28 回	授業の計画・内容	銅鐸文様と石棒文様	
	準備学習 (予習・復習等)	配布実測図ならびに写真をふまえた型式学的理解	60分
第 29 回	授業の計画・内容	儀礼の継続と断絶	
	準備学習		

	(予習・復習等)	人類学・社会学の概論熟読	120分
	第 30 回	授業の計画・内容	総括
		準備学習 (予習・復習等)	これまでの配布資料の確認 80分
履修上の留意点等			
成績評価の方法		試験	
	50 %	レポート	
		小テスト	
	50 %	平常点	
教科書/テキスト	特になし。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業アンケートの実施なし。		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			
アクティブラーニング型の授業科目			

履修コード/科目名称	824621 / 考古学演習 I 【演習】		
開講年度・期	2021年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	寺前 直人 (テラマエ ナオト)		
副担当教員氏名(カナ)			

授業概要	個別発表と質疑を通して修士論文作成のための実践的な研究方法を学ぶ			
到達目標(ねらい)	修士論文の作成のためには、研究対象を適切に選別し、分析する能力を涵養する必要がある。本演習では、個別発表とその批評をとおして、上記の能力を適切に身につけることをめざす。			
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	概要説明	
		準備学習 (予習・復習等)	紹介論文の熟読	60分
	第 2 回	授業の計画・内容	レジュメ作成の基礎 1	
		準備学習 (予習・復習等)	紹介論文の熟読	60分
	第 3 回	授業の計画・内容	レジュメ作成の基礎 2	
		準備学習 (予習・復習等)	紹介日本語文章論の熟読	80分
	第 4 回	授業の計画・内容	資料調査の基礎 1	
		準備学習 (予習・復習等)	紹介論文の熟読	60分
	第 5 回	授業の計画・内容	資料調査の基礎 2	
		準備学習 (予習・復習等)	紹介論文の熟読	60分
	第 6 回	授業の計画・内容	博物館・埋蔵文化財センターの活用方法	
		準備学習 (予習・復習等)	紹介HPの閲覧	60分
	第 7 回	授業の計画・内容	インターネットを利用した資料収集	
		準備学習 (予習・復習等)	紹介HPからの文献ダウンロードと活用	120分
	第 8 回	授業の計画・内容	報告書を利用した資料収集 1	
		準備学習 (予習・復習等)	紹介HPからの図面データを利用した作業	60分
	第 9 回	授業の計画・内容	報告書を利用した資料収集 2	
		準備学習 (予習・復習等)	紹介HPからの図面データを利用した作業	60分
	第 10 回	授業の計画・内容	発表 1	
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備	60分
	第 11 回	授業の計画・内容	発表 2	
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備	60分
	第 12 回	授業の計画・内容	発表 3	
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備	60分
	第 13 回	授業の計画・内容	発表 4	

	準備学習 (予習・復習等)	発表準備	60分
第 14 回	授業の計画・内容	発表総評	
	準備学習 (予習・復習等)	発表内容の復習	60分
第 15 回	授業の計画・内容	資料と分析方法1	
	準備学習 (予習・復習等)	発表内容の再確認	60分
第 16 回	授業の計画・内容	資料と分析方法2	
	準備学習 (予習・復習等)	発表資料の作成	60分
第 17 回	授業の計画・内容	資料と分析方法3	
	準備学習 (予習・復習等)	発表資料の作成	60分
第 18 回	授業の計画・内容	資料調査発表1	
	準備学習 (予習・復習等)	資料調査の実践	480分
第 19 回	授業の計画・内容	資料調査発表2	
	準備学習 (予習・復習等)	資料調査の実践	480分
第 20 回	授業の計画・内容	資料調査発表3	
	準備学習 (予習・復習等)	資料調査の実践	480分
第 21 回	授業の計画・内容	資料調査発表4	
	準備学習 (予習・復習等)	資料作成	120分
第 22 回	授業の計画・内容	資料撮影と実測1	
	準備学習 (予習・復習等)	資料作成	120分
第 23 回	授業の計画・内容	資料撮影と実測2	
	準備学習 (予習・復習等)	資料作成	120分
第 24 回	授業の計画・内容	グラフ作成法	
	準備学習 (予習・復習等)	資料作成	120分
第 25 回	授業の計画・内容	空間分析	
	準備学習 (予習・復習等)	資料作成	120分
第 26 回	授業の計画・内容	統計的処理	
	準備学習 (予習・復習等)	P C 上での成果物作成	120分
第 27 回	授業の計画・内容	研究発表1	
	準備学習 (予習・復習等)	発表準備	240分
第 28 回	授業の計画・内容	研究発表2	
	準備学習 (予習・復習等)	発表準備	240分
第 29 回	授業の計画・内容	研究発表3	
	準備学習		

		(予習・復習等)	発表準備	240分
	第 30 回	授業の計画・内容	研究発表4	
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備	240分
履修上の留意点等				
成績評価の方法		試験		
	50 %	レポート		
		小テスト		
	50 %	平常点		
教科書/テキスト				
参考書 ▶ 図書館蔵書検索				
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	学生に課題を課す機会が少なかったため、研究進度が芳しくないことが散見された。そこで、本年度はより具体的な課題を与えていきたい。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	824701 / 考古学特講Ⅲ【講義】		
開講年度・期	2021年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	角道 亮介 (カクドウ リヨウスケ)		
副担当教員氏名(カナ)			

授業概要	考古学の研究をするためには、一次資料の重要性を認識しなければならない。本講義では中国考古学を主な対象に、原書講読の形を通じて一次資料の取扱い方を学ぶ。			
到達目標(ねらい)	中国考古学に関わる考古資料を検討対象として、一次資料の扱い方を学ぶ。  本科目は、人文科学研究科歴史学専攻の学位授与の方針DP1と特に関連が強く、DP2にも関連する。			
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	ガイダンス： 授業スケジュールについて	
		準備学習 (予習・復習等)	復習：授業スケジュールを念頭に、年間の研究計画を立てること。	60分
	第 2 回	授業の計画・内容	資料の収集と文章の読み方について	
		準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
	第 3 回	授業の計画・内容	原書講読1	
		準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
	第 4 回	授業の計画・内容	原書講読2	
		準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
	第 5 回	授業の計画・内容	原書講読3	
		準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
	第 6 回	授業の計画・内容	原書講読4	
		準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
	第 7 回	授業の計画・内容	原書講読5	
		準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
	第 8 回	授業の計画・内容	原書講読6	
		準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
	第 9 回	授業の計画・内容	原書講読7	
		準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
	第 10 回	授業の計画・内容	原書講読8	
		準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
	第 11 回	授業の計画・内容	原書講読9	
		準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
	第 12 回	授業の計画・内容	原書講読10	



	第 29 回	授業の計画・内容	原書講読26	
		準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
	第 30 回	授業の計画・内容	総括	
		準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
履修上の留意点等	<p>基本的には外国語文献の講読を予定しているが、テキストについては参加者の状況に応じて調整したい。</p> <p>また、参加者の状況に応じて外部の博物館見学を行う可能性がある。</p> <p>授業ではC-learningやGoogleClassroomなどの授業支援システムを利用する予定である。</p> <p>なお、本授業は基本的に全授業回を対面で行う予定であるが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、本授業を一部遠隔授業または完全遠隔授業（Google Meetを利用したリアルタイム双方向型授業）の形で実施する。</p>			
成績評価の方法		試験		
	40 %	レポート		
		小テスト		
	60 %	平常点		
教科書/テキスト	初回授業時に指示する。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業において適宜指示する。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	アンケート実施対象外科目であるが、授業への要望があれば遠慮なく伝えてほしい。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	824721 / 考古学演習Ⅲ【演習】		
開講年度・期	2021年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	角道 亮介 (カクドウ リヨウスケ)		
副担当教員氏名(カナ)			

授業概要	参加者に自身の研究発表をしてもらい、質疑応答を通じて自身の研究を深める。			
到達目標(ねらい)	<p>修士論文の提出が到達目標である。</p> <p>卒業論文の執筆を通じて学んだ論文作成の基礎をもとに、論理的な学術論文の作成方法を学ぶとともに、学術的な議論の仕方についても理解を深める。</p> <p>本科目は、人文科学研究科歴史学専攻の学位授与の方針DP1・DP2と特に関連が強く、DP3にも関連する。</p>			
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	ガイダンス：授業スケジュールについて	60分
		準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究史について調査を進めること。	
	第2回	授業の計画・内容	卒論発表1	60分
		準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	
	第3回	授業の計画・内容	卒論発表2	60分
		準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	
	第4回	授業の計画・内容	卒論発表3	60分
		準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	
	第5回	授業の計画・内容	研究発表1	60分
		準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	
	第6回	授業の計画・内容	研究発表2	60分
		準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	
	第7回	授業の計画・内容	研究発表3	60分
		準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	
	第8回	授業の計画・内容	研究発表4	60分
		準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	
	第9回	授業の計画・内容	研究発表5	

	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 10 回	授業の計画・内容	研究発表6	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 11 回	授業の計画・内容	研究発表7	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 12 回	授業の計画・内容	研究発表8	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 13 回	授業の計画・内容	研究発表9	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	研究発表10	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	研究発表に関する総括	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。	180分
第 16 回	授業の計画・内容	研究発表11	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	研究発表12	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	研究発表13	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	研究発表14	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	研究発表15	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	研究発表16	

	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	研究発表17	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	研究発表18	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	研究発表19	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	研究発表20	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	研究発表21	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 27 回	授業の計画・内容	研究発表22	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	研究発表23	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 29 回	授業の計画・内容	研究発表24	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。 復習：他の受講生の発表を聞き、研究上有効な分析方法や論理的な議論の展開について学ぶこと。	60分
第 30 回	授業の計画・内容	総括：修士論文の執筆に向けて	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：図書館などを利用し修論の資料収集に努めるとともに、当該テーマの研究を深めること。	60分
履修上の留意点等	<p>修士の二年間はあっという間に過ぎるものである。 一分一秒を惜しんで研究に邁進してほしい。 授業ではC-learningやGoogleClassroomなどの授業支援システムを利用する予定である。 なお、本授業は基本的に全授業回を対面で行う予定であるが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、本授業を一部遠隔授業または完全遠隔授業（Google Meetを利用したリアルタイム双方向型授業）の形で実施する場合がある。</p>		
成績評価の方法	試験		
	レポート		
	小テスト		

	平常点
100 %	研究発表
教科書/テキスト	初回授業時に指示する。
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業中に適宜紹介する。
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	アンケート実施対象外科目であるが、授業への要望があれば遠慮なく伝えてほしい。
関連リンク	
実務経験がある教員による授業科目	
アクティブラーニング型の授業科目	授業内で、ディスカッションやプレゼンテーションを実施する。

履修コード/科目名称	824751 / 考古学特講Ⅳ【講義】		
開講年度・期	2021年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	土生田 純之 (ハブタ ヨシユキ)		
副担当教員氏名(カナ)			

授業概要	考古学特講Ⅳ【講義】を担当します。土生田です。私の専門は日本考古学ですが、中でも横穴式石室を専門としています。		
到達目標(ねらい)	多くの人は地方業績菅野技師になると思います。ら、どのような遺物・遺構で出土しても対応できるように基本的な考古学の意識を持てるようにしたいと思います。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	畿内型石室の基礎理解 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	九州系石室との相違を考えること。 90分
	第 2 回	授業の計画・内容	畿内型石室の基礎理解 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	九州系石室との相違を考えること。 90分
	第 3 回	授業の計画・内容	畿内型石室の基礎理解 (3)
		準備学習 (予習・復習等)	九州系石室との相違を考えること。 90分
	第 4 回	授業の計画・内容	畿内型石室の基礎理解 (4)
		準備学習 (予習・復習等)	九州系石室との相違を考えること。 90分
	第 5 回	授業の計画・内容	畿内型石室の基礎理解 (5)
		準備学習 (予習・復習等)	九州系石室との相違を考えること。 90分
	第 6 回	授業の計画・内容	横穴式石室の概要 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	畿内型石室がなぜ全国に広がったかを考えること。 90分
	第 7 回	授業の計画・内容	横穴式石室の概要 (2)
準備学習 (予習・復習等)		畿内型石室がなぜ全国に広がったかを考えること。 90分	
第 8 回	授業の計画・内容	横穴式石室の概要 (3)	
	準備学習 (予習・復習等)	畿内型石室がなぜ全国に広がったかを考えること。 90分	
第 9 回	授業の計画・内容	横穴式石室の概要 (4)	
	準備学習 (予習・復習等)	畿内型石室の特色をよく学んでおくこと。 90分	
第 10 回	授業の計画・内容	横穴式石室の概要 (5)	
	準備学習 (予習・復習等)	畿内型石室の特色をよく学んでおくこと。 90分	
第 11 回	授業の計画・内容	九州系石室 (北部九州型石室・肥後型石室等) の概要 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	九州系石室が相当早く受容したのになぜ畿内型石室に後れをとったかを考えること。 90分	
第 12 回	授業の計画・内容	九州系石室 (北部九州型石室・肥後型石室等) の概要 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	畿内型石室に比べて、なぜ全国への影響力が少なかったかを考える。 90分	
第 13 回	授業の計画・内容	九州系石室 (北部九州型石室・肥後型石室等) の概要 (3)	

	準備学習 (予習・復習等)	畿内型石室に比べて、なぜ全国への影響力が少なかったかを考える。	90分
第14回	授業の計画・内容	九州系石室（北部九州型石室・肥後型石室等）の概要（4）	
	準備学習 (予習・復習等)	九州系石室の特色を考える。	90分
第15回	授業の計画・内容	九州系石室（北部九州型石室・肥後型石室等）の概要（5）	
	準備学習 (予習・復習等)	九州系石室の特色を考える。	90分
第16回	授業の計画・内容	黄泉国思想（ネクロポリス）が横穴式石室に与えた影響（1）	
	準備学習 (予習・復習等)	横穴式石室に黄泉国思想が与えた構造的変化を考えること。	90分
第17回	授業の計画・内容	黄泉国思想（ネクロポリス）が横穴式石室に与えた影響（2）	
	準備学習 (予習・復習等)	横穴式石室の構造に黄泉国思想が与えた影響を考えること。	90分
第18回	授業の計画・内容	黄泉国思想（ネクロポリス）が横穴式石室に与えた影響（3）	
	準備学習 (予習・復習等)	横穴式石室の構造に黄泉国思想が与えた影響を考えること。	90分
第19回	授業の計画・内容	黄泉国思想（ネクロポリス）が横穴式石室に与えた影響（4）	
	準備学習 (予習・復習等)	横穴式石室の構造に黄泉国思想が与えた影響を考えること。	90分
第20回	授業の計画・内容	黄泉国思想（ネクロポリス）が横穴式石室に与えた影響（5）	
	準備学習 (予習・復習等)	横穴式石室の構造に黄泉国思想が与えた影響を考えること。	90分
第21回	授業の計画・内容	上毛野の横穴式石室（1）	
	準備学習 (予習・復習等)	畿内との密接な関係を文献に学ぶこと。	90分
第22回	授業の計画・内容	上毛野の横穴式石室（2）	
	準備学習 (予習・復習等)	畿内との密接な関係を文献に学ぶこと。	90分
第23回	授業の計画・内容	上毛野の横穴式石室（3）	
	準備学習 (予習・復習等)	畿内との密接な関係を文献に学ぶこと。	90分
第24回	授業の計画・内容	上毛野の横穴式石室（4）	
	準備学習 (予習・復習等)	考古学的観点から、畿内との比較をすること。	90分
第25回	授業の計画・内容	上毛野の横穴式石室（5）	
	準備学習 (予習・復習等)	考古学的観点から、畿内との比較をすること。	90分
第26回	授業の計画・内容	南東北の横穴式石室（1）	
	準備学習 (予習・復習等)	東日本と同じ様相の南東北の横穴式石室を考えること。	90分
第27回	授業の計画・内容	南東北の横穴式石室（2）	
	準備学習 (予習・復習等)	東日本と同じ様相の南東北の横穴式石室を考えること。	90分
第28回	授業の計画・内容	北東北の末期古墳（1）	
	準備学習 (予習・復習等)	8～10世紀に築造された北東北の末期古墳について考えること。	90分
第29回	授業の計画・内容	北東北の末期古墳（2）	
	準備学習 (予習・復習等)	8～10世紀に築造された北東北の末期古墳について考えること。	90分

	第 30 回	授業の計画・内容	8～10世紀に築造された北東北の末期古墳について考えること。	
		準備学習 (予習・復習等)	8～10世紀に築造された北東北の末期古墳について考えること。	90分
履修上の留意点等	努力を惜しまず準備学習に記述した内容に沿って勉強すること。			
成績評価の方法		試験		
	50 %	レポート		
		小テスト		
	50 %	平常点		
教科書/テキスト	教科書は特に用いない。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索				
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	できる限り対応します。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	824801 / 考古学特講Ⅴ【講義】		
開講年度・期	2021年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	高久 健二 (タカク ケンジ)		
副担当教員氏名(カナ)			

授業概要	<p>この講義では、朝鮮半島の考古学のうち、青銅器時代～三国時代までを扱う予定である。朝鮮半島と日本列島は活発な交流が行われており、両者は歴史的・文化的に密接な関係にある。したがって、日本列島の文化を理解する上で、朝鮮半島の文化の理解は不可欠である。今回の講義で取り扱う青銅器時代～三国時代は、日本列島の弥生時代～古墳時代に当たり、活発な対外交流が行われていた時代として知られている。このような対外交流を通じて導入された新たな文化や技術が、日本列島の国家形成に少なからず影響を与えた。この講義では、大韓民国や朝鮮民主主義人民共和国における考古学的調査・研究成果を中心に論じるが、必要に応じて日本や中国との関係についても触れていく。</p>		
------	---	--	--

到達目標(ねらい)	<p>朝鮮半島における考古学的調査・研究の成果、および東アジアにおける朝鮮考古学の意義を理解することを目的とする。具体的には、以下の3点を目標とする。</p> <p>(1)各時代における考古学的な発掘調査成果を理解する。</p> <p>(2)各時代における編年研究および文化的特徴を理解する。</p> <p>(3)各時代における周辺地域（中国大陸や日本列島など）との関係を理解する。</p>		
-----------	---	--	--

授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	講義の概要と目的	
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書を確認しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
	第2回	授業の計画・内容	朝鮮半島における青銅器時代の文化(1)－集落遺跡－	
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
	第3回	授業の計画・内容	朝鮮半島における青銅器時代の文化(2)－生業と青銅器の出現－	
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
	第4回	授業の計画・内容	朝鮮半島の支石墓文化(1)－支石墓の形態と変遷－	
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
	第5回	授業の計画・内容	朝鮮半島の支石墓文化(2)－支石墓に見られる階層性と社会背景－	
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
	第6回	授業の計画・内容	朝鮮半島における初期鉄器時代の文化(1)－集落遺跡・墳墓遺跡－	
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
	第7回	授業の計画・内容	朝鮮半島における初期鉄器時代の文化(2)－青銅器・鉄器－	
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
	第8回	授業の計画・内容	楽浪郡の文化(1)－郡県の位置問題と土城－	
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
	第9回	授業の計画・内容	楽浪郡の文化(2)－古墳文化－	
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
	第10回	授業の計画・内容	帯方郡の土城と古墳(1)－土城－	

	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 11 回	授業の計画・内容	帯方郡の土城と古墳(2)－古墳文化－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 12 回	授業の計画・内容	原三国時代の文化(1)－集落遺跡と古墳文化－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 13 回	授業の計画・内容	原三国時代の文化(2)－対外交流－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	青銅器時代から原三国時代までのまとめと総括	
	準備学習 (予習・復習等)	青銅器時代から原三国時代までの講義内容を復習しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	高句麗の都城(1)－平壤の都城－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	高句麗の都城(2)－集安の都城－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	高句麗の古墳文化(1)－積石塚－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	高句麗の古墳文化(2)－壁画古墳－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	新羅の都城と寺院(1)－都城－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	新羅の都城と寺院(2)－寺院－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	新羅の古墳文化(1)－積石木槨墓－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	新羅の古墳文化(2)－横穴式石室墓－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	百済の都城と寺院(1)－都城－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	百済の都城と寺院(2)－寺院－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	百済の古墳文化(1)－積石塚・横穴式石室墓－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	百済の古墳文化(2)－塼室墓－	
	準備学習	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。ま	60分

	(予習・復習等)	た、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	
第 27 回	授業の計画・内容	加耶諸国の古墳文化（1）－金官国・大加耶国・安羅国の古墳－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	加耶諸国の古墳文化（2）－古自国・多羅国・比自火国の古墳－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 29 回	授業の計画・内容	三国時代のまとめと総括	
	準備学習 (予習・復習等)	三国時代の講義内容を復習しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 30 回	授業の計画・内容	総括	
	準備学習 (予習・復習等)	青銅器時代から三国時代までの講義内容を復習しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
履修上の留意点等	<p>各授業の実施形態：  オンライン授業（オンデマンド型／リアルタイム配信型）を併用する。  ※実施にあたり注意事項を「駒澤大学における令和3年度の授業形態について」に記載してあります。</p> <p>オンラインで実施する授業回での具体的な実施方法：  オンデマンド型の場合は、Google Classroomで配信する。リアルタイム型の場合は、Google Meetでおこなう。</p>		
成績評価の方法		試験	
		レポート	
		小テスト	
	100 %	平常点	
教科書/テキスト	特になし。プリント資料を配布する。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	・韓国考古学会編；庄田慎矢，山本孝文訳2013『概説韓国考古学』同成社 ・吉井秀夫2010『古代朝鮮墳墓にみる国家形成』京都大学学術出版会		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため、授業アンケート未実施（授業アンケート対象外科目）		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			
アクティブラーニング型の授業科目			

履修コード/科目名称	824851 / 考古学特講VI【講義】		
開講年度・期	2021年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	設楽 博己(シタラ ヒロミ)		
副担当教員氏名(カナ)			

授業概要	<p>まずお伝えしたいのは、新型コロナの状況次第で、リモート授業になることである。ついでに、受講希望者は、事前に設楽のメール (shitara@l.u-tokyo.ac.jp) に連絡をいただきたい。</p> <p>弥生時代の文化と社会を考える。弥生時代のはじまりは、日本列島において最も大きな歴史的転換の一つであった。中国や朝鮮半島からの影響を背景にしたもので、大陸的な文化要素は弥生文化の骨格をなす。一方、縄文文化もいたるところに継承されている。これまで弥生文化の研究では、縄文文化の要素の研究はなおざりにされてきた。本授業ではこの点に着目しながら、様々な観点から弥生時代の文化と社会の特質を論じる。この講義では弥生時代を概観し、衣・食・住である生業・服飾・集落に焦点を当てる。</p>		
到達目標(ねらい)	<p>縄文時代と弥生時代の社会と文化の授業を通じて、それぞれの基礎的知識を獲得し、縄文時代・縄文文化とはなにか、弥生時代・弥生文化とはなにかを考え、縄文時代から弥生時代への転換が日本やアジアの歴史にとってどのような意味を持っていたのか思いめぐらすきっかけとする。</p>		
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	1 弥生時代とは(教科書第1章・結び) 弥生文化、弥生時代の研究史を学び、それらがどのようにとらえられてきて今日に至ったのかを知る。
		準備学習(予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。 60分
	第2回	授業の計画・内容	2 弥生文化の範囲(教科書第1章) 日本列島のなかで弥生文化の範囲の外にある北海道域と南西諸島の文化を論じる。また、弥生文化の地域性も考える。
		準備学習(予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。 60分
	第3回	授業の計画・内容	3 弥生人とは(教科書第1章) 弥生時代の人々の形質と系統を、人骨による形質人類学の分野の成果から学ぶ。DNA分析の結果にも触れる。
		準備学習(予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。 60分
	第4回	授業の計画・内容	4 水田稲作の開始と展開(教科書第2章) 弥生時代に農耕文化がどのようにして成立したのか、穀物の渡来ルートや最初期の水田の特質と由来などを論じる。
		準備学習(予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。 60分
	第5回	授業の計画・内容	5 水田稲作の実態(教科書第2章) 弥生時代の水田稲作の特質を、水田跡遺構、イネ、その収穫と貯蔵などから探る。
		準備学習(予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。 60分
	第6回	授業の計画・内容	6 農耕と土器・石器・木器(教科書第2章) 弥生時代の農耕の特質を、それに用いた道具である土器、石器、木器から考える。
		準備学習(予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。 60分
	第7回	授業の計画・内容	7 木の実食と雑穀栽培(教科書第2章) 弥生時代の農耕は稲作を基盤とするが、地域や時期によっては雑穀を主体にしていた。伝統的な木の実食とともにその重要性を考える。
		準備学習(予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。 60分
	第8回	授業の計画・内容	8 狩猟と漁撈はどうなったか(教科書第2章) 狩猟と漁撈は縄文時代の基幹産業であった。農耕がはじまることで、これら伝統的な生業がどのように変化したのか探る。

	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第9回	授業の計画・内容	9 弥生人は何を着ていたか(教科書第2章) 弥生時代の衣服を出土資料から推定する。また、紡織の技術についても論じる。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第10回	授業の計画・内容	10 装身具とその役割(教科書第2章) 弥生人はさまざまな装身具を身につけた。ここではそれらを紹介し、縄文文化の装身具と比較してその意義を考える。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第11回	授業の計画・内容	11 イレズミと抜歯(教科書第2章) イレズミと抜歯は縄文時代を代表する通過儀礼である。弥生時代にそれがどのように変化したのか、またその役割はいかなるものだったのか考え	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第12回	授業の計画・内容	12 集落の諸形態(教科書第2章) 弥生時代を代表する集落形態の環濠集落と高地性集落に焦点を当てて、その役割を論じる。弥生時代の戦争についても触れる。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第13回	授業の計画・内容	13 集落のなかの施設(教科書第2章) 竪穴建物、掘立柱建物、井戸などを中心に、集落のなかに敷設された建造物を学ぶ。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第14回	授業の計画・内容	14 縄文集落から弥生集落へ(教科書第2章) 神奈川県小田原市中里遺跡という弥生時代中期の農耕集落を素材に、縄文時代の集団がどのようにして農村を作り上げていったのか考える。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第15回	授業の計画・内容	15 弥生都市論をめぐる(教科書第2章) 弥生時代に都市があったのではないかという説をめぐる、それに評価を下し、日本列島最古の都市の姿を探る。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第16回	授業の計画・内容	16 土器絵画に見る弥生人の農耕儀礼(教科書第3章) 弥生土器に描かれた絵画のモチーフを紹介しながら、そこに描かれた内容に解釈を加え、主に農耕儀礼にかかわることを論じる。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第17回	授業の計画・内容	17 銅鐸の謎(教科書第3章) 銅鐸は古来謎に満ちた青銅器とされてきた。その理由を考えながらなぜ解きをおこなう。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第18回	授業の計画・内容	18 武器の形をした祭器(教科書第3章) 弥生文化を代表する武器型の青銅器を紹介し、それが変化をとげて祭器に転化するまでをたどる。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第19回	授業の計画・内容	19 多様な墓のあり方(教科書第3章) 弥生時代の墓の諸形態を概観し、その地域性を学ぶ。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第20回	授業の計画・内容	20 墓制に見る縄文文化・古墳文化との差(教科書第3章) 墓の外表施設や副葬品の在り方などから、縄文時代と古墳時代の墓との差にどのような意味があるのか考える。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分

第 21 回	授業の計画・内容	21 祖先のまつり（教科書第3章） 祖先祭祀を考古学的にあとづけるにはどのようにすればよいのか考え、弥生時代の祖先祭祀の特質を縄文時代の祖先祭祀と比較しながら理解する。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	22 石器の生産と流通（教科書第4章） 弥生時代に特有の石器生産のありかたとはなにか、北部九州と長野県北部を対象に考える。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	23 青銅器・鉄器の生産と流通（教科書第4章） 青銅器と鉄器は縄文時代になかった道具だが、日本列島にいつ頃どのようにして流入したのか探り、その広がり方を長野県北部を対象に考える。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	24 装身具の生産と流通（教科書第4章） 弥生時代の装身具を網羅的に紹介し、そのうちの貝輪を中心に生産と流通の在り方を探る。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	25 船の利用と農耕文化の拡散（教科書第4章） 弥生文化は東北地方北部にまで比較的スムーズに広がるが、それは日本海を通じてのことであった。その伝達に利用されたであろう船について学ぶ。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	26 大陸との交通と渡来人問題（教科書第4章） 農耕や金属器は渡来系の人々によってもたらされた。その画期や渡来ルート、渡来系の人々の果たした役割を論じる。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第 27 回	授業の計画・内容	27 弥生人の家族と社会組織（教科書第1章） 弥生時代の社会を考える。家族の在り方、親族組織を墓から探る。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	28 弥生時代の男女（教科書第1章） 弥生時代の男女の社会的な関係性はいかなるものであったのか、ジェンダー論を縄文文化と比較しながら展開する。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第 29 回	授業の計画・内容	29 王墓と国の形成（教科書第1章） 弥生時代は国家形成の第一歩であった。初期の状況を墓から探る。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
第 30 回	授業の計画・内容	30 卑弥呼登場の背景（教科書第1章） 古墳時代の前夜の状況、青銅器の流通や墳墓の変化が社会にもたらした影響を論じ、邪馬台国がどこにあり卑弥呼がどこにいたのか推測する。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書・参考書を読んでおく。	60分
履修上の留意点等	毎回、授業開始の前か後に質疑応答をおこなう。前の場合、事前に学習して質問をしてもらい、それに答えることから授業をはじめていく。後の場合、授業でわからなかったことなどを中心に、それに答えたり議論をしたりする。いずれにしても、その貝のテーマを教科書を中心に学習しておくこと。授業はパワーポイントとレジュメにより進める。		
成績評価の方法		試験	
	50 %	レポート	
		小テスト	

	50 %	平常点																																					
教科書/テキスト	<table border="1"> <tr> <td>書籍名</td> <td colspan="7">弥生時代 邪馬台国への道（ヒスカルセレクション考古3）</td> </tr> <tr> <td>著者名</td> <td colspan="3">設楽博己</td> <td>出版社</td> <td colspan="3">敬文舎</td> </tr> <tr> <td>出版年</td> <td>2019</td> <td>価格</td> <td>2,000円</td> <td>ISBN</td> <td colspan="3">9784906822324</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="7">教科書</td> </tr> </table>							書籍名	弥生時代 邪馬台国への道（ヒスカルセレクション考古3）							著者名	設楽博己			出版社	敬文舎			出版年	2019	価格	2,000円	ISBN	9784906822324			備考	教科書						
書籍名	弥生時代 邪馬台国への道（ヒスカルセレクション考古3）																																						
著者名	設楽博己			出版社	敬文舎																																		
出版年	2019	価格	2,000円	ISBN	9784906822324																																		
備考	教科書																																						
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	設楽博己2014年『縄文社会と弥生社会』敬文舎 設楽博己2021年『顔の考古学—異形の世界—』歴史文化ライブラリー514、吉川弘文館																																						
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	期末にアンケートおこない、改善する。																																						
関連リンク																																							
実務経験がある教員による授業科目																																							
アクティブラーニング型の授業科目																																							

履修コード/科目名称	824861 / 考古学特講Ⅶ【講義】		
開講年度・期	2021年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	松木 武彦 (マツギ タケヒコ)		
副担当教員氏名(カナ)			

授業概要	この授業では、水稻農耕の定着とともに、日本列島の国家形成の端緒となるさまざまな社会変動が生じた弥生時代について、考古学上の議論の現状と展望について知識を深めます。また、それを受けて、自らの学習・研究内容に関する問題の設定、および論考の作成へと考察を深める方法についても学びます。授業は講義形式で行いますが、ディスカッションなどを通じて自らの知識の習得度や理解度を確認する機会をもちます。		
------	---	--	--

到達目標(ねらい)	弥生時代は、日本の考古学でも比較的多くの研究者が集中し、また社会的にも市民の関心が高い時代であり、大学・研究機関において研究者・教育者・指導者として、また、高等学校をはじめとする教育界や博物館・資料館・文書館・教育委員会などで、専門職として十分に活躍できるだけの人格と専門的研究能力に裏打ちされた力量を兼ね備えていることという、人文科学研究科歴史学専攻の教育方針に沿って学習を深めるのに適した対象です。この授業を通じて、博物館や学校などの教育機関あるいは大学などの研究機関において社会の要請に応え得る専門家として活動できるための高度の能力を養います。		
-----------	---	--	--

授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	弥生時代はどのように研究されてきたか？－学史的・歴史的検討	
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	第2回	授業の計画・内容	集落と集団の復元 ①単位集団論とその背景(1960年代)	
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	第3回	授業の計画・内容	集落と集団の復元 ②拠点集落論の登場(1970-80年代)	
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	第4回	授業の計画・内容	集落と集団の復元 ③「弥生都市」論の評価と総括(1990年代)	
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	第5回	授業の計画・内容	集落と集団の復元 ④「弥生都市」論への批判から拠点集落論の再検討へ(2000年代以降)	
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	第6回	授業の計画・内容	集落と集団の復元①～④のまとめとディスカッション	
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	第7回	授業の計画・内容	集団と社会の復元 ①高地性集落と社会統合論(1960-1970年代)	
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	第8回	授業の計画・内容	集団と社会の復元 ②武力抗争についての議論(1970-1980年代)	
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	第9回	授業の計画・内容	集団と社会の復元 ③青銅製祭器についての議論(1970-1980年代)	
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
		授業の計画・内容	集落と集団の復元①～③のまとめとディスカッション	

第 10 回	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	授業の計画・内容	階層化の議論①墓制の発展についての議論(1)(1970年代)	
第 11 回	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	授業の計画・内容	階層化の議論②墓制の発展についての議論(2)(1980年代)	
第 12 回	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	授業の計画・内容	階層化の議論③墓制の発展についての議論(3)(1990年代～2000年代)	
第 13 回	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	授業の計画・内容	階層化の議論①～③のまとめとディスカッション	
第 14 回	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	授業の計画・内容	弥生社会の変化についての議論①年代論(1)(1990年代まで)	
第 15 回	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	授業の計画・内容	弥生社会の変化についての議論②年代論(2)(2000年代以降)	
第 16 回	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	授業の計画・内容	弥生社会の変化についての議論③古墳出現のプロセス(1)(1990年代まで)	
第 17 回	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	授業の計画・内容	弥生社会の変化についての議論④古墳出現のプロセス(2)(1990年代まで)	
第 18 回	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	授業の計画・内容	弥生社会の変化についての議論①～④のまとめとディスカッション	
第 19 回	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	授業の計画・内容	第1-19回のまとめと総合ディスカッション	
第 20 回	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	授業の計画・内容	弥生時代研究と歴史理論① 社会進化論・史的唯物論・国家形成論	
第 21 回	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	授業の計画・内容	弥生時代研究と歴史理論② プロセス考古学と社会発展論	
第 22 回	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	授業の計画・内容	弥生時代研究と歴史理論③ ポスト・プロセス考古学とその影響	
第 23 回	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	授業の計画・内容	弥生時代研究と歴史理論①～③のまとめとディスカッション	
第 24 回	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
	授業の計画・内容	弥生時代研究の新視角① 認知考古学(1)	
第 25 回	準備学習	参考文献を読み、設問に答える	60分

	(予習・復習等)		
	第 26 回	授業の計画・内容	弥生時代研究の新視角② 認知考古学(2)
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える 60分
	第 27 回	授業の計画・内容	弥生時代研究の新視角③ 高精度古気候復元
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える 60分
	第 28 回	授業の計画・内容	弥生時代研究の新視角④ グローバル・ヒストリー
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える 60分
	第 29 回	授業の計画・内容	弥生時代研究の新視角①～④のまとめとディスカッション
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える 60分
	第 30 回	授業の計画・内容	第20-29回のまとめと総合ディスカッション
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える 60分
履修上の留意点等	全授業を対面で行います。質問用紙やディスカッションを通じた積極的な参加を期待します。		
成績評価の方法	20 %	試験	
	20 %	レポート	
		小テスト	
	40 %	平常点	
	20 %	質問用紙による意見の往復	
教科書/テキスト	授業で配布するプリントを教材として用います。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業の進行に応じ、毎回の授業で紹介します。		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業の全体進行に遅滞が生じないよう、講義内容の効率的整理を行った。		
関連リンク	特になし		
実務経験がある教員による授業科目	特になし。		
アクティブラーニング型の授業科目			

授業コード	1201450	科目コード	1211011725	開講学期	2021年度 前期	単 位	2.0
-------	---------	-------	------------	------	-----------	-----	-----

開設学科	生活文化研究専攻	科目ナンバリング	
------	----------	----------	--

科目名	考古学研究 I D 古墳時代文化研究
科目名英訳	Study on Archaeology I D
科目名備考	
担当者	小泉 玲子

一般教養になる 他学科学生（所 属）		一般教養になる 他学科学生（学 年）	
--------------------------	--	--------------------------	--

授業概要	日本の古墳時代について様々な考古資料をもとに考える。前期は古墳時代の遺物についての知識を増やすことを目的とし、後期は遺物研究から古墳祭祀の諸相を探り、東国の古墳時代の特色を考える。
授業到達目標 及びテーマ	日本の古墳時代を理解する上で必要な基本的知識の修得と、研究状況・方法論を学び、調査・研究方法を身につける。
キーワード	(1) 古墳 (2) 葬送祭祀 (3) 埴輪祭祀
内容（学生の 学修内容と準備 学習の内容を含む）	<p>(1) 本講義の内容と目的について [準備]シラバスを確認する(90分)</p> <p>(2) 古墳時代について 古墳とは [準備]古墳の定義を調べる(90分)</p> <p>(3) 資料の見方と研究方法 古墳の立地と分布 [準備]前回講義「古墳とは」について復習する(90分)</p> <p>(4) 資料の見方と研究方法 古墳の墳丘と外表施設 [準備]古墳の外表施設を調べる(90分)</p> <p>(5) 資料の見方と研究方法 古墳の埋葬施設 [準備]古墳の埋葬施設を調べる(90分)</p> <p>(6) 資料の見方と研究方法 土師器 (1) [準備]土師器について調べる(90分)</p> <p>(7) 資料の見方と研究方法 土師器 (2) [準備]前回講義の内容を復習する(90分)</p> <p>(8) 資料の見方と研究方法 埴輪 (1) [準備]埴輪について調べる(90分)</p> <p>(9) 資料の見方と研究方法 埴輪 (2) [準備]前回講義の内容を復習する(90分)</p> <p>(10) 資料の見方と研究方法 須恵器 (1) [準備]須恵器について調べる(90分)</p> <p>(11) 資料の見方と研究方法 須恵器 (2) [準備]前回講義の内容を復習する(90分)</p> <p>(12) 資料の見方と研究方法 鏡 [準備]鏡について調べる(90分)</p> <p>(13) 資料の見方と研究方法 装身具 [準備]装身具について調べる(90分)</p> <p>(14) 遺跡見学および博物館見学 [準備]訪問先の遺跡および博物館について調べる(90分)</p> <p>(15) まとめ [準備]これまでの学習内容を復習する(90分)</p>
評価基準と評 価の方法	五段階評価。平常点（受講態度・授業参加等）30%、レポート点70%。この割合を基準として総合的に評価する。提出課題はコメントして返却。

教科書1		ISBN1	
教科書2		ISBN2	
教科書3		ISBN3	
授業資料	適宜配布する		
参考書	土生田純之編集2014『古墳の見方』ニューサイエンス社 三木 弘 2011 『古墳社会と地域経営』学生社 広瀬和雄 2007 『古墳時代政治構造の研究』塙書房 坂 靖 2009 『古墳時代の遺跡学』雄山閣 広瀬和雄・池上悟編 2007『武蔵と相模の古墳』季刊考古学別冊15 雄山閣		

担当者連絡先	常勤教員 火・水・木・金 歴史文化学科教授室 (B7.5階) オフィスアワー：金曜日13：30～14：30 研究室 (B7.3T01b)
その他（履修条件、注意事項等）	教員免許取得のための選択科目 中学社会、高校地理歴史 教科に関する科目 担当形態：単独
事務使用欄	

授業コード	2201720	科目コード	1212011723	開講学期	2021年度 後期	単 位	2.0
-------	---------	-------	------------	------	-----------	-----	-----

開設学科	生活文化研究専攻	科目ナンバリング	
------	----------	----------	--

科目名	考古学研究 I D 古墳時代文化研究
科目名英訳	Study on Archaeology I D
科目名備考	
担当者	小泉 玲子

一般教養になる 他学科学生（所 属）		一般教養になる 他学科学生（学 年）	
--------------------------	--	--------------------------	--

授業概要	日本の古墳時代について様々な考古資料をもとに考える。前期は古墳時代の遺物についての知識を増やすことを目的とし、後期は遺物研究から古墳祭祀の諸相を探り、東国の古墳時代の特色を考える。
授業到達目標 及びテーマ	日本の古墳時代を理解する上で必要な基本的知識の修得と、研究状況・方法論を学び、調査・研究方法を身につける。
キーワード	(1) 古墳 (2) 葬送祭祀 (3) 埴輪祭祀
内容（学生の 学修内容と準備 学習の内容を含む）	<p>(1) 本講義の内容と目的について [準備]シラバスを確認する(90分)</p> <p>(2) 古墳時代について [準備]前期の講義内容を復習する(90分)</p> <p>(3) 埴輪祭祀 (1) 円筒埴輪の成立と変遷 [準備]埴輪について調べる(90分)</p> <p>(4) 埴輪祭祀 (2) 埴輪の編年 [準備]「円筒埴輪総論」(配布)の内容を確認する(90分)</p> <p>(5) 埴輪祭祀 (3) 形象埴輪の出現と展開 [準備]前回の講義内容を復習する(90分)</p> <p>(6) 埴輪祭祀 (4) 形象埴輪群像の解釈 [準備]『古墳時代の遺跡学』の「埴輪文化」(配布)を読む(90分)</p> <p>(7) 古墳時代の諸問題 東国の古墳 [準備]『武蔵と相模の古墳』(配布)の所定の場所を読む(90分)</p> <p>(8) 古墳時代の諸問題 東国における埴輪生産と流通 (1) [準備]『武蔵と相模の古墳』(配布)の所定の場所を読む(90分)</p> <p>(9) 古墳時代の諸問題 東国における埴輪生産と流通 (2) [準備]『武蔵と相模の古墳』(配布)の所定の場所を読む(90分)</p> <p>(10) 古墳時代の諸問題 古墳時代前期の東国 [準備]『武蔵と相模の古墳』(配布)の所定の場所を読む(90分)</p> <p>(11) 古墳時代の諸問題 古墳時代中期の東国 [準備]『武蔵と相模の古墳』(配布)の所定の場所を読む(90分)</p> <p>(12) 古墳時代の諸問題 古墳時代後期の東国 [準備]『武蔵と相模の古墳』(配布)の所定の場所を読む(90分)</p> <p>(13) 古墳時代の諸問題 古墳時代終末期の東国 [準備]『武蔵と相模の古墳』(配布)の所定の場所を読む(90分)</p> <p>(14) 遺跡見学および博物館見学 [準備]訪問先の遺跡および博物館について調べる(90分)</p> <p>(15) まとめ [準備]これまでの学習内容を復習する(90分)</p>
評価基準と評 価の方法	五段階評価。平常点（受講態度・授業参加等）30%、レポート点70%。この割合を基準として総合的に評価する。提出課題はコメントして返却。

教科書1		ISBN1	
教科書2	特になし	ISBN2	
教科書3	特になし	ISBN3	
授業資料	適宜配布する		
参考書	土生田純之編集2014『古墳の見方』ニューサイエンス社 三木 弘 2011 『古墳社会と地域経営』学生社 広瀬和雄 2007 『古墳時代政治構造の研究』塙書房 坂 靖 2009 『古墳時代の遺跡学』雄山閣 広瀬和雄・池上悟編 2007『武蔵と相模の古墳』季刊考古学別冊15 雄山閣		

担当者連絡先	常勤教員 火・水・木・金 歴史文化学科教授室 (7号館5階) オフィスアワー：金 13:30~14:30 研究室 (B7. 3T01b)
その他 (履修条件、注意事項等)	教員免許取得のための選択科目 中学社会、高校地理歴史 教科に関する科目 担当形態：単独
事務使用欄	

授業コード	1201550	科目コード	1211000332	開講学期	2021年度 前期	単 位	2.0
-------	---------	-------	------------	------	-----------	-----	-----

開設学科	生活文化研究専攻	科目ナンバリング	
------	----------	----------	--

科目名	文化財研究(文化) I E 文化財の保存修復研究
科目名英訳	Study on Cultural Property IE
科目名備考	
担当者	田中 眞奈子

一般教養になる 他学科学生(所 属)		一般教養になる 他学科学生(学 年)	
--------------------------	--	--------------------------	--

授業概要	本講義では、日本国内における文化財の調査や修復事例を取り上げながら、その保存・活用の考え方や手法についてに講義する。実物資料の調査や、最新のトピックも含めた具体的な事例研究を通して、文化財保存の意義を学ぶ。
授業到達目標 及びテーマ	学部での授業を基礎に、日本における文化財の保存科学的調査・実験や修復の事例研究を通して、貴重な文化財を保存活用しより良い状態で後世に継承することの重要性を実証的に学ぶ。
キーワード	(1) 文化財 (2) 調査・修復 (3) 保存
内容(学生の 学修内容と準備 学習の内容を含 む)	<p>準備学習は、次回学修内容に関わる予習事項を示すので、あらかじめ参考文献等で調べて把握しておくこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入-授業の進め方とねらい [準備] シラバスを確認し、ノートの用意(60分)</li> <li>2. 文化財の科学的調査法 [準備] 文化財の科学的調査法についての復習をしておく(90分)</li> <li>3. 文化財実物資料の調査1 [準備] 文化財実物資料を調査する際の手順や方法についての復習をしておく(90分)</li> <li>4. 文化財実物資料の調査2 [準備] 文化財実物資料を調査する際の手順や方法についての復習をしておく(90分)</li> <li>5. 文化財の科学的調査に関する日本の最新事例紹介1 [準備] 文化財の科学的調査に関する日本の最新事例を調べる(90分)</li> <li>6. 文化財の科学的調査に関する日本の最新事例紹介2 [準備] 文化財の科学的調査に関する日本の最新事例を調べる(90分)</li> <li>7. 文化財の修復における考え方 [準備] 文化財の修復における考え方についての復習をしておく(90分)</li> <li>8. 国内の文化財修復報告書・文献の読み合わせ1 [準備] 指定された文献を予習しておく(90分)</li> <li>9. 国内の文化財修復報告書・文献の読み合わせ2 [準備] 指定された文献を予習しておく(90分)</li> <li>10. 文化財の修復に関する国内の最新事例紹介1 [準備] 文化財の修復に関する国内の最新事例を調べる(90分)</li> <li>11. 文化財の修復に関する国内の最新事例紹介2 [準備] 文化財の修復に関する国内の最新事例を調べる(90分)</li> <li>12. 文化財の保存活用に関する現状と課題 [準備] 文化財の保存活用に関する現状と課題についての復習をしておく(90分)</li> <li>13. 文化財の保存活用に関する国内の最新事例紹介1 [準備] 文化財の保存活用に関する国内の最新事例を調べる(90分)</li> <li>14. 文化財の保存活用に関する国内の最新事例紹介2 [準備] 文化財の保存活用に関する国内の最新事例を調べる(90分)</li> <li>15. まとめ [準備] これまで学習した内容をまとめておく(90分)</li> </ol>
評価基準と評 価の方法	平常点30%、レポート70%を基準とし、総合的に判断して五段階評価する。レポートはポイントのフィードバックを行う。

教科書1		ISBN1	
教科書2		ISBN2	

教科書 3		ISBN3	
授業資料	プリント配布、参考資料を随時指示		
参考書			
担当者連絡先	常勤教員 火水木金 歴史文化学科教授室（7号館5階）、田中研究室 オフィスアワー：水曜日14:40～15:30研究室（B73T05A）		
その他（履修条件、注意事項等）			
事務使用欄			

授業コード	2201820	科目コード	1212000420	開講学期	2021年度 後期	単 位	2.0
-------	---------	-------	------------	------	-----------	-----	-----

開設学科	生活文化研究専攻	科目ナンバリング	
------	----------	----------	--

科目名	文化財研究(文化) I E 文化財の保存修復研究
科目名英訳	Study on Cultural Property I
科目名備考	
担当者	田中 眞奈子

一般教養になる 他学科学生(所 属)		一般教養になる 他学科学生(学 年)	
--------------------------	--	--------------------------	--

授業概要	本講義では、主に海外における文化財の調査や修復事例を取り上げながら、その保存・活用の考え方や手法についてに講義する。実物資料の調査や、最新のトピックも含めた具体的な事例研究を通して、文化財保存の意義を学ぶ。
授業到達目標 及びテーマ	海外における文化財の保存科学的調査・実験や修復の事例研究を通して、貴重な文化財を保存活用し、より良い状態で後世に継承することの重要性を多角的かつ実証的に学ぶ。
キーワード	(1) 文化財 (2) 調査・修復 (3) 保存
内容(学生の 学修内容と準備 学習の内容を含 む)	<p>準備学習は、次回学修内容に関わる予習事項を示すので、あらかじめ参考文献等で調べて把握しておくこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入-授業の進め方とねらい [準備] シラバスを確認し、ノートの用意(60分)</li> <li>2. 文化財実物資料の調査1 [準備] 文化財実物資料を調査する際の手順や方法についての復習をしておく(90分)</li> <li>3. 文化財実物資料の調査2 [準備] 文化財実物資料を調査する際の手順や方法についての復習をしておく(90分)</li> <li>4. 文化財実物資料の調査3 [準備] 文化財実物資料を調査する際の手順や方法についての復習をしておく(90分)</li> <li>5. 文化財の科学的調査に関する海外の最新の事例紹介1 [準備] 文化財の科学的調査に関する海外の最新事例を調べる(90分)</li> <li>6. 文化財の科学的調査に関する海外の最新の事例紹介2 [準備] 文化財の科学的調査に関する海外の最新事例を調べる(90分)</li> <li>7. 文化財の科学的調査に関する海外の最新の事例紹介3 [準備] 文化財の科学的調査に関する海外の最新事例を調べる(90分)</li> <li>8. 海外の文化財修復報告書・文献の読み合わせ1 [準備] 指定された文献を予習しておく(90分)</li> <li>9. 海外の文化財修復報告書・文献の読み合わせ2 [準備] 指定された文献を予習しておく(90分)</li> <li>10. 海外の文化財修復報告書・文献の読み合わせ3 [準備] 指定された文献を予習しておく(90分)</li> <li>11. 文化財の修復に関する海外の最新の事例紹介1 [準備] 文化財の修復に関する海外の最新事例を調べる(90分)</li> <li>12. 文化財の修復に関する海外の最新の事例紹介2 [準備] 文化財の修復に関する海外の最新事例を調べる(90分)</li> <li>13. 文化財の保存活用に関する海外の最新事例紹介1 [準備] 文化財の保存活用に関する海外の最新事例を調べる(90分)</li> <li>14. 文化財の保存活用に関する海外の最新事例紹介2 [準備] 文化財の保存活用に関する海外の最新事例を調べる(90分)</li> <li>15. まとめ [準備] これまで学習した内容をまとめておく(90分)</li> </ol>
評価基準と評 価の方法	平常点30%、レポート70%を基準とし、総合的に判断して五段階評価する。レポートはポイントのフィードバックを行う。

教科書1		ISBN1	
教科書2		ISBN2	

教科書 3		ISBN3	
授業資料	プリント配布、参考資料を随時指示		
参考書			
担当者連絡先	常勤教員 火水木金 歴史文化学科教授室（7号館5階）、田中研究室 オフィスアワー：水曜日14:40～15:30研究室（B7.3T05A）		
その他（履修条件、注意事項等）			
事務使用欄			